

## ⑦地域高規格道路上信自動車道（金井IC～箱島IC）建設事業

受賞機関 群馬県 北群馬渋川振興局 渋川土木事務所、群馬県 上信自動車道建設事務所

**キーワード** 眺望阻害の排除、周辺環境との調和、  
リダンダンシーの確保

### 全建賞審査委員会の評価ポイント

上信自動車道（金井IC～箱島IC）約7.2kmの建設。道路両側300mを景観誘導区域に指定し屋外広告物を規制するとともに、眺望確保のため、路側防護柵にガードパイプを採用し、色・仕様を統一するなど、良好な景観形成に取り組んだ点や、ホテルの生息に配慮した道路照明を採用した点が評価された。

### 1. はじめに

上信自動車道は、群馬県渋川市の関越自動車道・渋川伊香保IC付近から鳥居峠付近を經由し、長野県側の上信越自動車道へ至る延長約80kmの地域高規格道路である。このうち、令和2年6月7日に金井IC～箱島ICまでの約7.2kmが開通した。上信自動車道としては、既に八ッ場ダム周辺部は開通しているが、インターチェンジ形式のアクセスコントロールされた区間の供用開始は今回が初である。

### 2. 事業の概要

上信自動車道は、災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するとともに、渋川・吾妻地域の物流の効率化による産業の発展や観光振興などに寄与する重要な道路である。

事業推進にあたっては、ICT技術を活用した新技術を積極的に導入し、受発注者双方による関係者の技術力向上を目指して工事を実施した。また、コンクリート構造物の長寿命化と維持管理コストの縮減を目指し、県で策定したガイドラインに従い、品質確保に向けた試行も行った。



金井IC～箱島IC開通式（6月7日）の様子

さらに、上信自動車道は吾妻地域の有名観光地（草津温泉、四万温泉等）へのアクセス道路として観光面で重要な道路であり自然景観の眺望に優れていることから、路側防護柵へガードパイプの採用による眺望阻害の排除を

行ったり、箱島IC付近ではホテルの生息に配慮した道路照明（ポール式→高欄内蔵式）を採用し、周辺環境との調和の取り組みも行った。

### 3. 事業の成果

今回の供用区間の対岸に位置する渋川市小野上では過去に崩落による通行規制が発生しており、今回の供用により、自然災害による道路寸断時のリダンダンシー（代替路）機能が確保された。

さらに、国道353号を中心とした渋滞区間を通過することなく、渋川地域と吾妻地域が連結されるため、混雑の緩和が見込まれる。今回の供用により現道（国道353号）の北群馬橋交差点の渋滞が解消された。



川島・高山IC付近の様子

### 4. おわりに

今回の供用により国が整備を進めている上信自動車道「渋川西バイパス（金井ICに接続される道路）」や県で整備を進めている「箱島IC以西区間」の早期完成を望む声が増しに大きくなっている。

上信自動車道は災害レジリエンスの向上のほか、沿線地域の産業の発展や観光振興など地域の活性化に役立つものと期待されており、一日も早い全線供用が望まれている。

**賛助会員** (株)オリエンタルコンサルタンツ、(株)建設技術研究所、(株)長大、セントラルコンサルタント(株)、大日本コンサルタント(株)、三井共同建設コンサルタント(株)、三井住友建設鉄構エンジニアリング(株)、日本橋梁(株)、JFEエンジニアリング(株)、(株)ピーエス三菱